

ISO/PC315国際会議における 小口保冷輸送規格の議論の進捗

2019年1月24日

経済産業省 産業技術環境局 国際標準課

統括基準認証推進官 高田 元樹

国際規格開発の背景・目的

(背景) ①電子商取引市場の発展に伴い、小口保冷配送サービスの需要が拡大

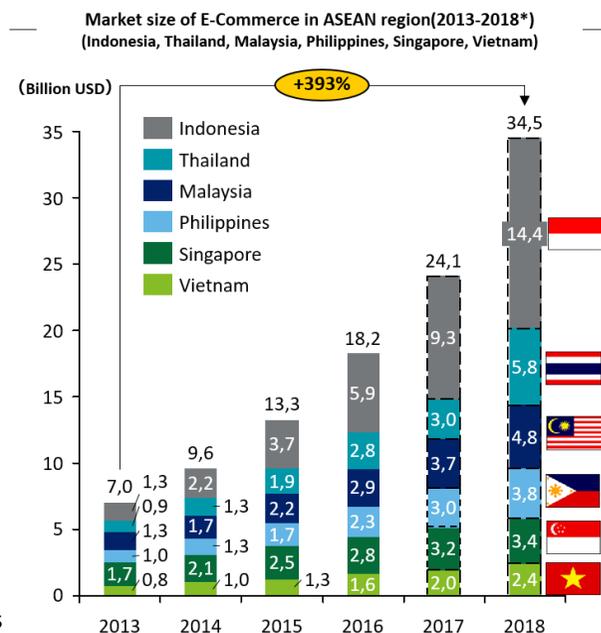
②一部の事業者による粗悪なサービス提供による、消費者の信頼低迷の恐れ

> 適切な温度管理や効率的な配送による日本のサービスが**国際的に適切に評価される仕組み**が必要。

(目的) ①国内外の消費者の利便性の向上

②小口保冷配送サービス市場の健全な発展

③我が国物流事業者の国際競争力強化



国際規格（案）の概要

- 名称：小口保冷配送サービス
- 適用範囲・内容：輸送過程での積替えを伴う保冷荷物の陸送において適切な温度管理を実現するための作業項目
- 現在、BS PAS1018をベースに国際規格を開発中。

<例>



- 荷物に添付すべき情報
(品名・輸送温度帯
(冷凍・冷蔵)等)

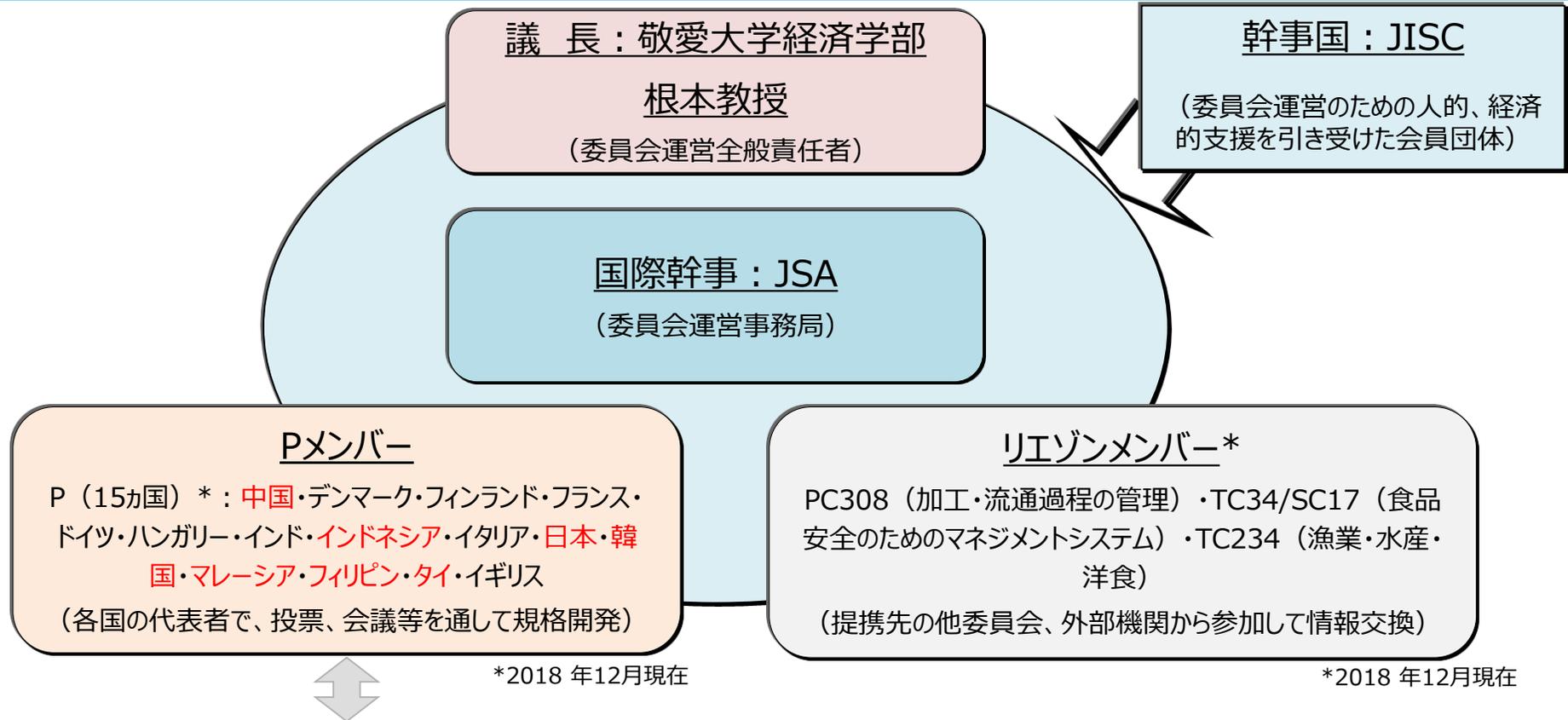
- 輸送温度 (冷蔵：最低・最高温度、冷凍：最高温度)、
標準配送期間等の設定
- 事業所・保冷車両・保冷库の条件 (気密性等)、庫内
温度管理の方法 (測定のタイミング・記録の保存等)
- 荷物の積替方法 (予冷・輸送温度帯別の管理等)

- 荷受人への配送 (不
在時の対応・保管期
限等)

- スタッフへのトレーニングの実施
- サービス品質の確認と改善

国際規格開発の体制

- 委員会運営の核となる議長・国際幹事の役割を担うことにより、我が国が、**国際規格開発を主導**。
- サービスの市場拡大・我が国事業者の進出が見込まれる**アジア各国の積極参加を働きかけ**。

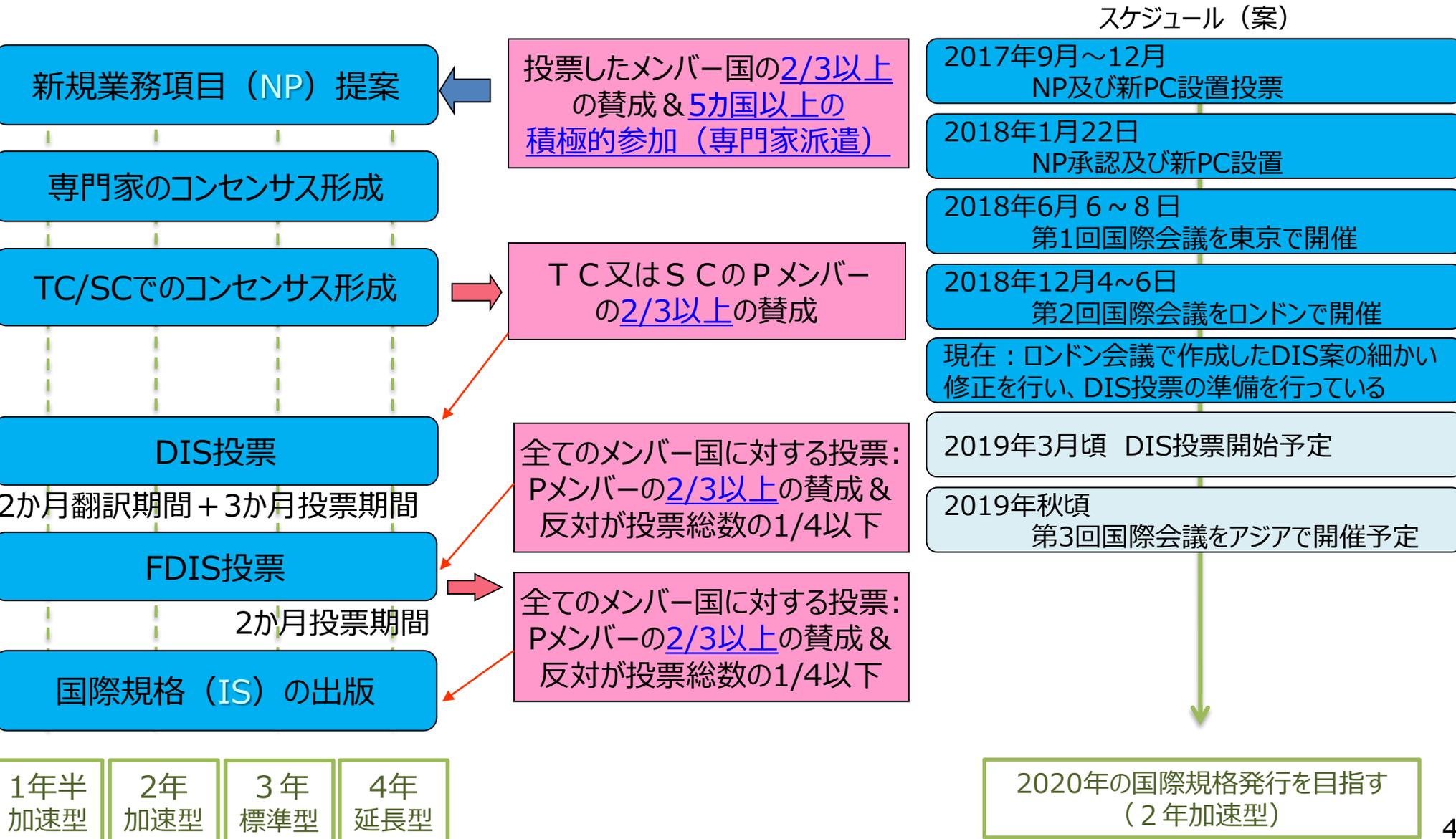


国内審議委員会

- 国内委員会委員長：根本教授
- 国内委員会事務局：(一財)日本規格協会 (JSA)
- 国内委員会委員：物流事業者・業界団体、荷主、サプライヤー、関係省庁、認証機関等

国際規格開発の流れ

- 小口保冷配送サービスを専門的に扱う**新たなプロジェクト委員会 (Project Committee) を設置。**
- **2020年 (2年加速型) の国際規格発行を目指し、**各国専門家と戦略的に交渉・調整。



- 1年半 加速型
- 2年 加速型
- 3年 標準型
- 4年 延長型

ISO/DIS (Draft International Standard) 案の概要

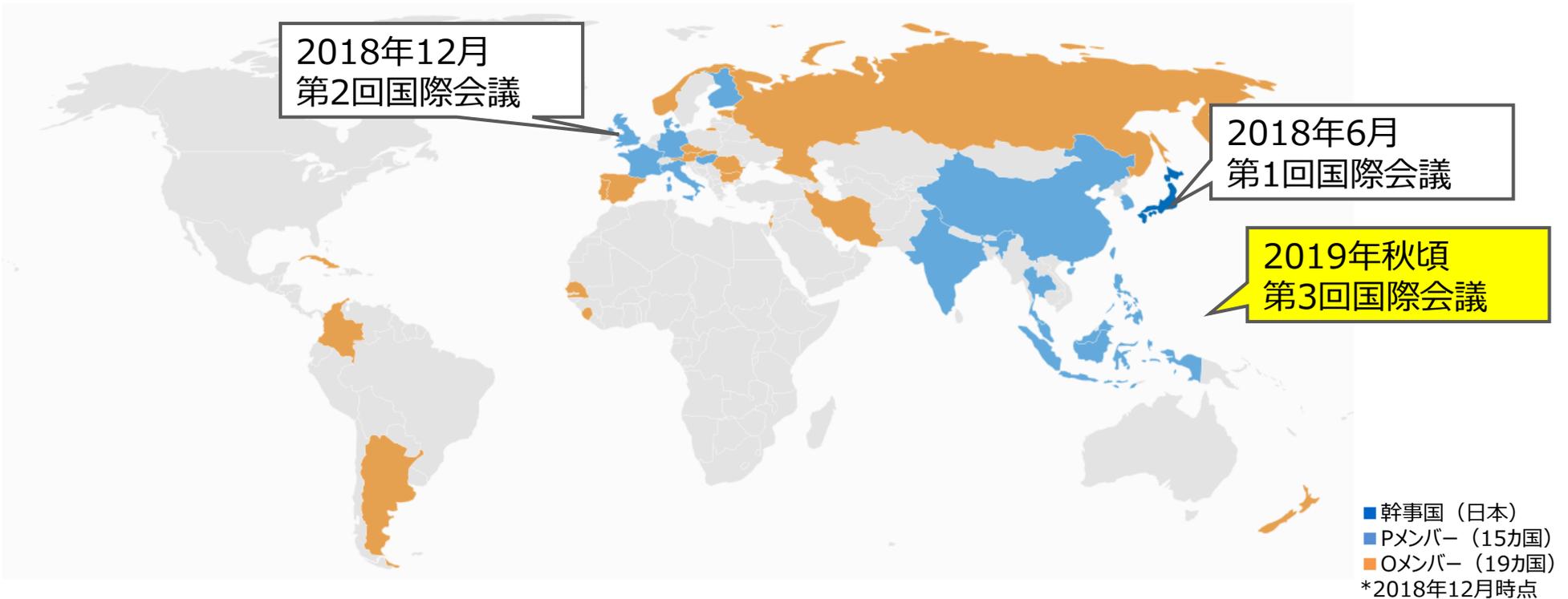
- 開発のベースであるBS PAS1018から内容面に大きな変更はなく、日本企業の国内外における活動や、市場の健全な発展に影響はないものと想定される。
- 内容面の変更のほか、細かな文言や編集上の変更が行われており、各国メンバーにとってより理解・活用しやすい規格に仕上がつつある。

<BS PAS1018からの主な内容面の変更点>

- 食品安全の観点から要求事項に以下を追加。
 - ①衛生に関する文言を作業指示書および社員への教育項目に入れるようにする。
 - ②害虫駆除に関する文言を固定式保冷庫の運用マニュアルに入れるようにする。
 - ③荷物の中身が食品だった場合はリスクアナリシスを実行するようにする。
- ※ただし、上記各項目の具体的な手順や内容までは規定していない。
- 固定式保冷庫と蓄冷材凍結庫のメンテナンスとクリーニングについて、スケジュールと実施実績を記録することを要求事項に追加。
- Introductionに環境配慮に関する記載を追記。

第3回国際会議について

- 2019年秋頃に第3回国際会議をアジアで開催予定。
- 会議中にFDIS (Final Draft International Standard) 案を作成し、会議終了後にFDIS投票を行う。FDIS投票で承認された場合、2020年には国際規格として発行される見込み。
- 規格発行後の普及促進を目的とした、現地事業者等向けのイベントの同時開催を検討中。



(参考)ISOとJISCの関係

国際体制 (ISO側)

ISO中央事務局
(ISO/CS)

- ・TMB等の事務局
- ・各TC/SC担当TPM
- ・国際規格の販売
etc.

※TPM: Technical Programme Manager

各TC/SC

- 議長
- 国際幹事
- Pメンバー(積極参加)
- Oメンバー(オブザーバ)

対応

国内体制 (MB側) = JISC

JISC事務局
(METI基準認証ユニット、JSA)

- ・ISO上層(総会、理事会、TMB等)担当官
- ・各TC/SC, JIS原案の担当官
- ・国際規格、JIS規格等の販売 (JSA)
- ・JSAによる規格開発支援業務

業務委嘱

各TC/SCの国内審議委員会(NMC)

- 国内委員会委員長
- 国内委員会事務局(=国内審議団体)
- 国内委員会委員
- オブザーバ

※NMC: National Mirror Committee

ルールブック

個々の規格を議論

- ISO/IEC 専門業務用指針第1部・第2部
(ISO/IEC Directives Part 1, Part2)
- ISO 補足指針 (ISO Supplement)

(一財)日本規格協会HPに日英対訳版が掲載:
<http://www.jsa.or.jp/default.asp>

- 日本工業標準調査会 (JISC)
ISO/IEC事務処理要領

日本工業標準調査会HPに国内審議団体向け要領を掲載:
<http://www.jisc.go.jp/international/isoiec-ref.html>